

# SEOS便り

## SEOS便りの発行に 当たり

発行所  
発行責任者 古谷 正実  
編集責任者 石川 勝敏

新事業年度のスタートに当たり、古谷常務取締役の抱負

私は、昨年十月二十二日に、このビルセクター（GMCとAGSの総称）の船長（グループ内呼称）を拝命しました。「会社存続の危機」という荒波の中の船出になりました。船も、船長、機関長など、各々の役割を十分に果たしてこそ、安全に目的地に到着いたします。

私達の目的は、裏面に記載されています「経営指針」の遂行であり、又ここで働く人やここに関係のある人が幸せになることです。

私も目的達成の為、精一杯頑張っておりますので、皆様も今まで以上に各々の役割を十分に果たして頂きたいと思っております。そして一緒に力を合わせて、この危機

を乗り切つていきたいと思います！

御理解、御協力の程よろしくお願致します。

致し。



石川取締役管理本部長の抱負

皆さん、日々業務に精励頂き、有難うございます。私も、昨年十一月に管理本部長に異動となり、漸く業務にも慣れてきたところです。一八〇度違う業務も多々あり、ある意味でリフレッシュできた部分もあると感じています。

さて、新年度に当たり、自己目標を掲げ業務に取り組みようと考えています。その基本は過去の経験を生かし、プラスワン業務を一年継続することとし、

一、新規顧客の開拓にも時間を割き、実績を挙げることに。

二、既存のお客様にも時間の許す限り訪問し、当社との関係強化に寄与すること。

三、現場訪問を心掛けること。を掲げ日々の業務に邁進する所存です。

厳しい市場環境が続く業界ですが、全社一丸となつてこの難局を乗り切つて行きましょう。



松本AGS事業本部副本部長(兼) 機械警備部長の抱負

平成二十三年度は適正利益を確保する年とするため諸経費の見直しと効率化を追求します。また、次世代基幹社員の選別と育成の年と考えています。そのためには、計画的な人材の確保（若手社員の登用）をしていきます。

機械警備部では、SEOSブランドの活用による営業力の強化で新規顧客の確保を推進していきます。皆様のご協力をお願いいたします。



白浜GMC事業本部副本部長(兼) 施設部長の抱負

平成二十三年度、私達を取り巻く環境は今だ激変の最中であり、環境・市場が変化し続けている今こそ、全員が一致協力して質の高いサービスと技術を提供し続けなければなりません。また、当社の強みであるSEOS営業を更に高め、全員が情報を共有して顧客への対応力を高めていくと共に、一人ひとりが自己啓発と研鑽に努力を重ね、

総体的レベルアップを図り、顧客に選ばれる会社にしていきたい。



中村常駐保安部長の抱負  
平成二十三年度常駐保安部の方針

「全員で増収・増益を達成させる！」をスローガンに、SEOS営業の拡大、コストの削減を目指します。隊員一人一人がアンテナを張り、本社に情報を集め、顧客の確保・開拓に繋げる。また、コスト削減を認識し、

小さな積み重ねで目標を達成させ、ステップアップを期したいと思います。



児嶋環境部長の抱負

新年度に向けて  
一、営業第一主義の徹底  
二、コスト意識の徹底  
三、人材の育成

当たり前の話ですが、以上三点を肝に銘じ増収・増益を目指して、頑張る所存です。ただし、入札を無事乗り切らないと、増収・増益も絵に書いたモチになってしまいます。メンバー一同入札命で頑張ります。



岩澤横浜支社長の抱負

昭和五十二年にAGSに入社し、営業開発本部・埼玉支社・機械警備部等を経験し、昨年十一月より横浜支社長を拝命、その任に就いています。年間六億もの売上がある横浜支社を任せられ、光栄であると同時に責任重大であると感じております。一人の力にはお限りがありますが、皆さんのお力をいただきながら、常に危機意識を持ち、売上向上に努め、次世代を考えた組織作りにより全力投球して参ります。



岡野千葉支社長の抱負

時代や社会のニーズに応じて社会経済が変化しています。私たちの業務も顧客のニーズに対応した技術、顧客の満足度を高めるためのサービスを提案及び実行出来る知識力を有する人材が社会から求められています。顧客のニーズにプラスになる助言及びサポートをし、アイデアとデザインを作成提示出来る人材の育成を図り、時代に必要とされる業務拡大を推進したいと思っております。



尾崎埼玉支社長代理の抱負

売上を増やし利益を得ること。それには、AGS杉田所長、GMC清水所長と協力して、埼玉支社一丸となって営業展開して行き、警備・清掃と区別せず、セオス営業を有効に進め、既存の顧客からの受注拡大と新規顧客の開拓を推進し、売上が少しづつでも確実に増え、利益も得られるように努力して行きたいと思っております。



砂田経理部長代理の抱負

新事業年度のスタートに当たり経理部として、次のことを目標にしたいと思います。一、個人の目標の具体化によるレベル向上への継続指導二、事業部との連携による不良債権（売掛金）の減少三、各支社の事務担当者の指導・改善以上の三点、常に感謝の気持ちを持って迅速かつ正確、丁寧な仕事に全力で取り組んでまいりますので宜しくお願いいたします。



ちょっとした気遣いで心が癒された事例の紹介

先日、ユーザー様から以下の紹介がありました。メモリアルセレス千代田21(葬儀場)で勤務中の警備員から葬儀に弔問された方々へ、「お気をつけください。」と声かけをした。葬儀後、弔問者からセレス千代田様へ、「警備員さんから励ましていただきました。」との投書が届き、その内容を常駐保安部から報告があった。皆さんもちょっとした声かけに、心掛けていただければ、気持ちも落ち着くのではないのでしょうか。葬儀場及び警備員の写真を掲載いたします。



平成23年度小泉グループ共通経営指針

《新たな革新と創造を目指して》

一環境激変への更なる挑戦一

1. 「選択と集中」で危機をチャンスに  
一顧客・商品・事業開発の推進一
2. 「ゼロベース」で見直す超効率化  
一原点に戻り不可能を可能に一
3. 後継者の育成  
一時代が求める人材の発掘・育成・登用一
4. 危機管理  
一コンプライアンスの更なる徹底一



平成23年度ビルセクター経営指針 (AGS・GMC共通)

《事業の発展的継続を目指して・・・企業体力の強化と体質の向上を図ろう！》

1. 「SEOSブランド」と「グループシナジー作戦」の強化・推進  
一営業力・競争力の強化による新規顧客の確保一
2. 費用対効果の徹底検証による収益力の向上  
一不要・不急経費の徹底削減と効率化の追求一
3. 次世代基幹社員の選別と育成システムの構築  
一計画的な人材確保と教育計画の確立一
4. 関係法令の遵守と危機管理の徹底  
一関係官庁との連携強化と社内体制・機能の充実一



編集後記

休刊してしました社内新聞を再び発行する運びとなりましたので、ここにお知らせ致します。再版一号として、今回は、各支社長の写真と併せて、今年度の抱負を従業員の皆様にお知らせすることと致しました。今後、編集につきましては、どのような記事も載せ情報提供するに重きを置き、編集することになります。今後とも是非掲載してほしい記事等があれば、総務部までご一報下さい。